



道徳の授業から

先週の道徳で、「真面目」について学習しました。授業の中でも紹介した文章をもう一度書きます。

- ・「まじめに生きた人は、時間を無駄に生きていないから、その内容が豊富である。」
- ・「まじめにやらない人が決して得られない何かを、まじめな人は得ています。
たとえば、各界で抜きん出る人は、その陰で、必ず人一倍の勉学や練習に励んでいます。」
- ・「自分のスタイルで生きれば最高だよ」
- ・「正直は一生の宝」という古語があります。何と言われようとまじめに人生を送ることが「幸せ」を得る近道だと思います。

「人生は種まき」と言われます。「まじめ」はよい種まき。よい種からはよい芽が出るのです。そしてきれいな花が咲き、すばらしい実が実るのです。 ということで、先日の道徳の本当のタイトルは「まじめの果実」でした。時間が足りず、説明できませんでした。

みんなの感想

- ・これからは真面目にし、真面目にする習慣をつけ、自分の夢の職業につきたい。
- ・真面目という言葉が入った言葉を心に刻み、人生を生きていきたい。
- ・「人生は種まき」「真面目は良い種まき」きっと将来いい夢や目標が達成できる。
- ・真面目は人の役にも立てて、自分のためにもなる。
- ・真面目はやっぱりいいことだ。
- ・私も真面目で居たい。頑張る。目標を達成したい。真面目に一生懸命生きたい。
- ・幸せになるためにこの人生を頑張って歩みたい。
- ・「真面目は一生の宝」という言葉が心に残った。
- ・真面目に人生を生きることが「幸せ」を得る近道だとわかった。
- ・真面目な人を尊敬し、私も真面目に行動していきたい。
- ・これから先、私も「真面目だね」と言われてみたいです。
- ・「まじめ」ということを、初めて深く考えたかもしれません。そしてどれだけ大切なことなのかと知ることができました。
- ・人生の種まきでは、たくさんの種をまいて、たくさんの花を咲かせるなか、一番輝いているのは「まじめの花」かもしれないと私は思います。
- ・「まじめな花」が一番きれいな花が咲く。もし枯れてもまた種まきから始める。何度でも種まきほどきくと思う。何度でもいつからでもできる。そして何度でもいつからでもきれいな花が咲く。
- ・まじめは良いこと、決して悪いことではない。まじめということを中心に褒めたい、褒めてもらいたいと私は思った。